

JPIC NEWSLETTER

通巻 225 号

2021 年 9 月 3 日

第28期「JPIC読書アドバイザー養成講座」スタート

8月28日(土)、第28期「JPIC読書アドバイザー養成講座」がスタートしました。今期は初の試みとして、4回8日間のスクーリングのうち前半2回がオンラインでの講義となります。



8月28日開講式 理事長からのメッセージ

当講座は、読書を通じて生涯学習や読書活動を推進する人材育成のため、1993年3月より始まり、今期も定員100名を超える応募がありました。受講者は北海道から九州まで幅広い年齢層、職業の方々が集いました。開講にあたりJPIC理事長 近藤敏貴より「出版界の課題は山積みであるが、新たな読者を増やすことが課題の解決と考える、皆様にもそのお手伝いをお願いしたい」と激励の言葉がありました。また、日本書籍出版協会 小野寺優理事長より「本をめぐる世界を存分に楽しんで学んでいただきたい」と言葉を頂戴しました。

専任講師 永江朗さんの「総論」「出版流通」や中西秀彦さんによる「印刷」大串夏身さんの「図書館」、開講記念として姜尚中さんに「読書という冒険」と題しご講演いただきました。受講者は3月の修了を目指し学びを深めます。

JPIC ONLINE イベント・連続講座ともに盛況！

8月は子ども部3回、大人部6回の計9回のプログラムを開催しました。

子ども部では季刊誌『この本読んで！』の連動企画「『この本読んで！』学びの時間」が連続講座で開始しました。第1回の8月21日は、9月1日防災の日になんで「防災×SDGs×絵本」というテーマでJPIC読書アドバイザーの

弘田恵子さんにお話をいただきました。作家や訳者の方にも視聴いただき関心の高さが窺える回となりました。

毎月定期開催している絵本アワー「こんにちは、絵本たち！」や翻訳家・小宮由さんによる連続講座「翻訳家と編集者」の第3回を配信、絵本の絵に関する情報や制作過程の話を多くの視聴者にお届けしました。

大人部では、3つの書籍の出版PRイベントと2つの連続講座を開催しました。

まず出版PRイベントでは8月7日に、7月刊行『子育て罰』（光文社新書）について共著者の末富芳さん（日本大学教授）・桜井啓太さん（立命館大学准教授）と編集者の永林あや子さんの3名によるトークセッションを配信、質疑応答の時間も含め充実した時間になりました。

そして7日には、9月28日に発売予定の『解きたくなる数学』（岩波書店）の刊行前特別講義を開催しました。佐藤雅彦さん（東京藝術大学名誉教授）と佐藤雅彦研究室出身の大島遼さん・廣瀬隼也さんの3名による講座は大変人気を博し、書籍の申込が500冊を超えるなど過去最高の参加者を得ることができました。



『解きたくなる数学』特別講義 佐藤雅彦さん

また11日には、6月に刊行された『東京復興ならず』（中公新書）の著者・吉見俊哉さん（東京大学教授）を招き、戦後東京の復興の過程から東京五輪後の展望まで、関心の高い話題について舌鋒鋭く講演いただきました。

連続講座では、8月19日から新たに「三島由紀夫とは何者か？」が始まりました。佐藤秀明さん（近畿大学教授）を講師に、計3回のカリキュラムで、三島由紀夫の核心に迫ります。28日には「英米ジュニア文学の世界」第5回目を開催、マーク・トウェインの『ハックルベリー・フィンの冒険』を、編集者の駒井稔さんに解説いただきました。

新規講座がスタート！ 子どもたちを物語の世界へ ～絵本から読みものへ～

1999年より全国各地にて、累計50,000名を超える方々が参加された(関連講座含む)、「JPIC読みきかせサポーター講習会」。20年以上、読みきかせボランティアの育成に力を注いできましたが、このたび新しく「読みきかせ」のその先、子どもたちが「ひとりで読むこと」、また「物語の世界を楽しむこと」について学ぶ講座をスタートします。

午前は、翻訳家や児童文学研究者、児童文学作家と多彩な講師陣による特別講演を、午後は、JPIC読書アドバイザーによる、読みものを子どもに手渡すときのポイントなどをお届けする予定です。今年度は以下の3会場です。

日程	会場	特別講演(敬称略)
10月2日 (土)	JA長野県ビル (長野市)	小宮 由 (翻訳家)
12月4日 (土)	JA共済埼玉ビル (さいたま市)	宮川健郎 (児童文学研究者)
2022年 1月22日 (土)	オルガホール (岡山市)	くすのきしげのり (児童文学作家)

参加者にはテキストとして『この本読んで！』秋(80)号を配布いたします。秋号では「生涯の友となる本と出会う 絵本から読みものへ」と題した特集を組み、筑波大学附属小学校国語科教諭・白坂洋一さん、杉並区立学校司書・土屋文代さんに子どもへの本の手渡し方についてお話を伺いました。

詳細は、同封のチラシ「子どもたちを物語の世界へ - 絵本から読みものへ - (さいたま市会場)」をご覧ください。

第54回造本装幀コンクール 公開展示 9月より開始

第54回造本装幀コンクール(主催(一社)日本書籍出版協会/(一社)日本印刷産業連合会 事務局:JPIC)の公開展示が、9月22日(水)から千代田区神田神保町、出版クラブビル3階のクラブライブラリーで行われます。入場無料、会期は11月30日(火)まで。第54回に出品された461作品すべてをご覧いただけます。また、会場では新たに設置された「読者賞」への投票もできます。「読者賞」は造本装幀コンクール出品作品中、惜しくも入賞に至らなかった複数点を対象に、一般の方が投票をして、一番得票の多かつ

た本に贈られる賞です。「読者賞」の投票は造本装幀コンクール公式Twitter、Instagramからも可能、締切は11月末まで。賞の概要は9月21日以降、造本装幀コンクールHPでご覧いただけます。9月中旬からは、神奈川県内の一部の有隣堂店頭にて、第54回造本装幀コンクール受賞作品フェアを開催予定。コンクール概要説明パネルと共に受賞24タイトルの見本を店頭で展開、同店舗にて販売いたします。

スミセイおはなしひろば(オンライン) 参加申込受付開始

「スミセイおはなしひろば」(主催/公益財団法人 住友生命健康財団 協力/JPIC)は、今年度もオンライン講座を2回開催、現在申し込みを受付中です。9月26日(日)は大友 剛さん、10月10日(日)にはtupera tupera 亀山達矢さんを講師にお迎えし、子どもたちとの絵本の楽しみかたなどをお話しいたします。

開催概要は以下の通りです。いずれも1週間の見逃し配信があります。

日時	講演内容
9月26日 (日) 13:30~ 15:30	第一部 ●「マジックと音楽と絵本の世界～ 子どもの世界を彩る3つの魔法～」 講師:大友剛さん (ミュージシャン、マジシャン、翻訳家) 第二部 ●「大型絵本をたのしもう！」 講師:鈴木清美さん (JPIC読書アドバイザー)
10月10日 (日) 13:30~ 15:30	第一部 ●「tupera tupera流 絵本のあそびかた」 講師:tupera tupera 亀山達矢さん (絵本作家) 第二部 ●「かみしばいの特性を引き出す 紙芝居舞台の使い方」 講師:橋口英二郎さん (紙芝居文化の会、童心社副編集長)

詳細・お申込みはJPIC イベント情報をご確認ください。
<https://www.jpic.or.jp/event/jpic/2021/08/10110547.html>

NEWSについてのお問合せや詳細資料をご希望の方は、事務局までお申し付け下さい。
JPIC HPアドレス: <https://www.jpic.or.jp>
賛助会員様のイベント情報を発信します!
お問い合わせ: info@jpico.jp